

第 44 回 日 本 血 液 事 業 学 会 総 会

令和 2 年 度 役 員 会 評 議 員 会

[報 告]

令和元年度 事業報告
令和元年度 収支報告
令和3年度 事業計画
第45回日本血液事業学会総会長の選出
令和3年度 収支予算
第46回、47回日本血液事業学会総会開催地
日本血液事業学会 会長と役員の選出
日本血液事業学会 名誉会員の推薦
その他

審議期間 令和 2 年 11 月 1 日 (日) ~ 11 月 13 日 (金)

令和元年度 日本血液事業学会事業報告

◎会員数 平成31年4月1日現在

A会員	6,546名
B会員	49名
合 計	6,595名

◎学会機関誌「血液事業」の発行

第42巻第1号	2019年5月	6,840部
第42巻第2号	2019年8月	7,035部(抄録集)
第42巻第3号	2019年11月	6,835部
第42巻第4号	2020年2月	6,835部
合 計		27,545部

◎第43回日本血液事業学会総会概要

総会事務局 日本赤十字社東北ブロック血液センター

第43回日本血液事業学会総会(総会長:日本赤十字社東北ブロック血液センター清水 博)は、令和元年10月2日(水)から10月4日(金)までの3日間に亘り、宮城県の仙台国際センターを会場として開催しました。

総会のテーマは「進化する医療と血液事業の調和を目指して」とし、4つの運営方針に基づいて行うこととしました。

「Updateな話題と研修的な要素を加味した『血液事業に従事する人々が参加する学会であることを意識するプログラム』」としました。

「原則として座長は一人とするなど『従来の総会運営に囚われない』こと」としました。

「運営は、日赤職員およびメッドのみで行い、アルバイトは採用しない」など『簡素』を旨としました。

「東日本大震災を経験した危機管理」および「新渡戸稻造の思想と赤十字活動」など地元講師による特別講演、「東北芸術工科大学によるポスター作製」、交見会における「東北ご当地グルメ料理」および「津軽三味線の演奏」など「東北の特色を活かす」ことに務めました。

総会のテーマに「進化する医療」とあるように、「iPS細胞を用いた血小板製剤の臨床応用の展望」など最先端の研究成果の講演および「血液法・薬機法改正に伴う血液事業の変革」などUpdateな話題のほか、研修的な要素を加味した教育講演、シンポジウムおよびワークショップを企画しました。

新たな試みとして、「血液事業動画コンテスト2019」を企画し、7つのブロックから選りすぐりの作品が集められ、献血推進や赤十字活動の広報のために制作した動画を発表する場を設けることで、血液事業を担う者としての相互理解を深める機会になりました。

プログラムの概要は次のとおりです。

特別講演は7題、特別講演1「Muse細胞を用いた新しい再生医療について」演者:出澤 真理(東北大学大学院医学系研究科細胞組織学分野)、特別講演2「地域医療をめぐる最近の動き~『2025年』と『2040年』、そして『2036年』~」演者:田川 幸太(厚生労働省医政局地域医療計画課医師確保等地域医療対策室地域医療専門官)、特別講演3「社会の変化に適合した今後の血液事業政策について」演者:河原 和夫(東京医科大学大学院政策科学分野)、特別講演4「iPS細胞を用いた血小板製

剤の臨床応用の展望」演者：杉本 直志(京都大学iPS細胞研究所)、特別講演5「財政の視点からみた我が国の医療の現状と課題」演者：佐藤 主光(一橋大学大学院経済学研究科)、特別講演6「新渡戸稻造の思想と日本赤十字社」演者：藤井 茂(一般財団法人新渡戸基金)、特別講演7「東日本大震災を経験した危機管理」演者：大山 健太郎(アイリスオーヤマ株式会社)を開催しました。

教育講演は8題、教育講演1「血漿連産品を用いた止血治療と抗体薬による補完療法」演者：藤村吉博(日本赤十字社近畿ブロック血液センター)、教育講演2「クレームを有する献血者への血液センターの対応策と取り組み」演者：小野寺 憲一(岩手医科大学附属病院)、教育講演3「まれな血液型に関する最新の知見」演者：伊藤 正一(日本赤十字社東北ブロック血液センター)、教育講演4「血液製剤による細菌感染と不活化について」演者：五十嵐 滋(日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)、教育講演5「貧血をめぐる最近の話題」演者：張替 秀郎(東北大学大学院医学系研究科血液免疫病学分野)、教育講演6「国際整合化を目指したGMP省令の改正案について」演者：近藤 耕平(医薬品医療機器総合機構医薬品品質管理部医薬品品質管理課)、教育講演7「大量出血患者の病態を知り、根拠に基づき、チームとして対応する」演者：久志本 成樹(東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野)、教育講演8「輸血後感染症について」演者：岡本 宏明(自治医科大学医学部感染・免疫学講座ウイルス学部門)を開催しました。

シンポジウムは8題、シンポジウム1「血液法・薬機法改正に伴う血液事業の変革」、シンポジウム2「採血副作用の現状とその対応」、シンポジウム3「新たな製造・製剤について」、シンポジウム4「供給体制と需給管理の改善」、シンポジウム5「人材育成について」、シンポジウム6「造血幹細胞移植の現在と未来」、シンポジウム7「医療連携を推進する医薬情報活動」、シンポジウム8「若年層への献血推進その現状と課題」を開催しました。

ワークショップは2題、ワークショップ1「献血推進・予約システムの導入と課題」、ワークショップ2「災害時の対応(危機管理)」を開催しました。

特別企画1「改善活動本部長賞候補演題」では、一時選考を通過した8事例の口演発表と最終審査が行われました。特別企画2「ブロック血液センター所長推薦優秀演題」では、日本赤十字社各ブロック血液センター所長から推薦のあった7題が発表され、7名の演者は総会長および日本赤十字社血液センター連盟会長から表彰されました。特別企画3「シンポジウム 血液事業本部・部会からの報告」では、血液事業本部に設置されている各部会から状況を報告いただきました。

共催セミナーは8題、共催セミナー1「心臓血管外科手術における輸血製剤使用の最近の考え方」、共催セミナー2「新生児輸血の実際」、共催セミナー3「世界の医療と血漿分画製剤事業」、共催セミナー4「血液製剤適正使用ガイドライン update」、共催セミナー5「母子間血球抗原型不適合の臨床」、共催セミナー6「血糖コントロールの最前線」、共催セミナー7「Platelet Quality Control Strategy in U.S.」、共催セミナー8「血友病治療の手段とその進歩」を開催しました。

演題は281題(口演147題、ポスター134題)が発表され、各会場で熱心な討論が展開されました。また、企業展示は36社が出展されました。

期間中、総会には974名(事前登録838名、当日受付136名)、第2日目に仙台国際センター展示棟展示室2・3において開催した会員交見会には652名と、全国から多数の方々が参加されました。

また、関連行事といたしまして、開会前日に日本血液事業学会編集委員会、同学会役員会、同学会評議委員会、日本赤十字社血液センター連盟役員会および同連盟臨時総会を、第2日目に同連盟作業部会を開催しました。

令和元年度日本血液事業学会収支決算書

(単位：円)

収 入		支 出	
1. 会費収入	48,985,000	1. 総会費	42,819,387
		2. 役員会費	45,684
2. その他収入	27,057,565	3. 評議員会費	0
		4. 編集委員会費	0
3. 補助金収入	0	5. 印刷製本費	18,369,080
		6. 職員費	2,646,424
4. 購読料収入	207,000	7. 旅費	220,326
		8. 通信運搬費	1,719,295
5. 雑収入	20,589	9. 消耗品費	20,893
		10. 印刷費	0
6. 利子収入	709	11. 雑費	0
		12. 租税公課	8,116,100
7. 前年度繰越額	75,019,478		
計	151,290,341	計	73,957,189

収支差引額 77,333,152円
(翌年度へ繰越)

前記決算のとおり相違ありません。

令和2年3月30日

日本血液事業学会
会長 椿 和 央

前記決算は正確であることを認めます。

令和2年9月30日

日本血液事業学会
会計監事 藤 崎 清 道

会計監事 峯 岸 正 好

令和3年度日本血液事業学会事業計画

◎会員数

A会員	6,400名
B会員	50名
合 計	6,450名

◎学会機関紙「血液事業」の発行

第44巻第1号	2021年 5月	6,950部
第44巻第2号	2021年 8月	7,150部 (抄録集)
第44巻第3号	2021年 11月	6,950部
第44巻第4号	2022年 2月	6,950部
合 計		28,000部 発行

第45回(令和3年度)日本血液事業学会総会長の選出

総会長 紀野修一先生

(日本赤十字社北海道ブロック血液センター所長)

(規約第10条第3号)

総会の開催に当っては会長が評議員会にはかって総会長を委嘱する。

第45回日本血液事業学会総会(総会長:紀野修一先生 日本赤十字社 北海道ブロック血液センター所長)は、2021年(令和3年)11月9日(火)~11日(木)に札幌コンベンションセンター(札幌市)を会場として開催する。

令和3年度日本血液事業学会収支予算書

(単位：円)

収 入		支 出	
1. 会費収入	47,240,000	1. 総会費	44,000,000
		2. 役員会費	30,000
2. その他収入	26,630,000	3. 評議員会費	0
		4. 編集委員会費	0
3. 購読料収入	200,000	5. 印刷製本費	19,600,000
		6. 職員費	2,700,000
4. 雜収入	20,000	7. 旅費	240,000
		8. 通信運搬費	1,680,000
5. 利子収入	1,000	9. 消耗品費	23,000
		10. 印刷費	0
6. 補助金収入	0	11. 雜費	1,000
		12. 租税公課	5,817,000
		13. 予備費	0
計	74,091,000	計	74,091,000

収支差引額 0円

第46回(令和4年度)日本血液事業学会総会開催地

日本赤十字社近畿ブロック血液センター管内

第47回(令和5年度)日本血液事業学会総会開催候補地

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター管内

日本血液事業学会 会長と役員の選出について

現在、会長は日本赤十字社近畿ブロック血液センター 瀧原義宏先生にお願いしており、令和3年度は2年毎の改選の年ですが日本血液事業学会規約第9条により再任を妨げないとあり、引き続き、日本赤十字社近畿ブロック血液センター 瀧原義宏先生にお願いし、役員についても同様です。

日本血液事業学会名誉会員の推薦について

中島 一格 先生(平成30年日本血液事業学会総会長)

清水 博 先生(令和元年度日本血液事業学会総会長)

として学会運営に顕著な功労がありました。

日本血液事業学会規約第4条(3)名誉会員をおくことができる。

細則 第1条(1)過去に総会長経験者であること。

その他

令和2年度日本血液事業学会役員会(18名)、評議員会(55名)は文書審議(令和2年11月1日から11月13日)にて全員から承認されました。

なお、今回の学会誌において総会報告とします。

日本血液事業学会総会開催状況

回	開催年月	開催場所	総会長	総会事務局
1	1977 (S.52). 7	宮城県(仙台市)	所長 千葉修次郎	宮城県赤十字血液センター
2	1978 (S.53). 6	東京都(渋谷区)	所長 大林 静男	日本赤十字社中央血液センター
3	1979 (S.54). 7	神奈川県(横浜市)	所長 岩田 昌一	神奈川県赤十字血液センター
4	1980 (S.55). 7	兵庫県(神戸市)	所長 今井 英世	兵庫県赤十字血液センター
5	1981 (S.56). 7	岡山県(岡山市)	所長 西崎太計志	岡山県赤十字血液センター
6	1982 (S.57). 7	静岡県(静岡市)	所長 野口 正輝	静岡県赤十字血液センター
7	1983 (S.58). 9	福岡県(福岡市)	所長 吉成 章之	福岡県赤十字血液センター
8	1984 (S.59). 9	大阪府(大阪市)	所長 田中 正好	大阪府赤十字血液センター
9	1985 (S.60). 9	京都府(京都市)	所長 細井 武光	京都府赤十字血液センター
10	1986 (S.61). 9	宮城県(仙台市)	所長 赤石 英	宮城県赤十字血液センター
11	1987 (S.62). 9	愛知県(名古屋市)	所長 福田 常男	愛知県赤十字血液センター
12	1988 (S.63). 9	広島県(広島市)	所長 宗像 寿子	広島県赤十字血液センター
13	1989 (H. 1). 10	熊本県(熊本市)	代行 前田 義章	熊本県赤十字血液センター
14	1990 (H. 2). 9	福島県(福島市)	所長 渡辺 岩雄	福島県赤十字血液センター
15	1991 (H. 3). 9	奈良県(奈良市)	所長 市場 邦通	奈良県赤十字血液センター
16	1992 (H. 4). 9	東京都(北区)	所長 天木 一太	東京都赤十字血液センター
17	1993 (H. 5). 9	北海道(札幌市)	所長 関口 定美	北海道赤十字血液センター
18	1994 (H. 6). 9	石川県(金沢市)	所長 大川 力	石川県赤十字血液センター
19	1995 (H. 7). 9	大阪府(大阪市)	北大阪所長 小川 昌昭	大阪府赤十字血液センター
20	1996 (H. 8). 3	千葉県(千葉市)	所長 十字 猛夫	日本赤十字社中央血液センター
21	1997 (H. 9). 9	宮崎県(宮崎市)	所長 新宮 世三	宮崎県赤十字血液センター
22	1998 (H.10). 9	北海道(旭川市)	釧路所長 中澤 英輔	北海道赤十字血液センター
23	1999 (H.11). 9	新潟県(新潟市)	所長 小島 健一	新潟県赤十字血液センター
24	2000 (H.12). 9	岡山県(倉敷市)	所長 喜多嶋康一	岡山県赤十字血液センター
25	2001 (H.13). 9	愛知県(名古屋市)	所長 小澤 和郎	愛知県赤十字血液センター
26	2002 (H.14). 9	福岡県(福岡市)	所長 前田 義章	福岡県赤十字血液センター
27	2003 (H.15). 9	京都府(京都市)	所長 横山 繁樹	京都府赤十字血液センター
28	2004 (H.16). 9	神奈川県(横浜市)	所長 諏訪 城三	神奈川県赤十字血液センター
29	2005 (H.17). 10	宮城県(仙台市)	所長 舟山 完一	宮城県赤十字血液センター
30	2006 (H.18). 10	北海道(札幌市)	所長 池田 久實	北海道赤十字血液センター
31	2007 (H.19). 10	香川県(高松市)	所長 内田 立身	香川県赤十字血液センター
32	2008 (H.20). 10	大阪府(大阪市)	所長 柴田 弘俊	大阪府赤十字血液センター
33	2009 (H.21). 11	愛知県(名古屋市)	名誉所長 神谷 忠	愛知県赤十字血液センター
34	2010 (H.22). 9	福岡県(福岡市)	所長 清川 博之	福岡県赤十字血液センター
35	2011 (H.23). 10	埼玉県(さいたま市)	所長 南 陸彦	埼玉県赤十字血液センター
36	2012 (H.24). 10	宮城県(仙台市)	所長 伊藤 孝	宮城県赤十字血液センター
37	2013 (H.25). 10	北海道(札幌市)	所長 高本 滋	北海道ブロック血液センター
38	2014 (H.26). 10	広島県(広島市)	所長 土肥 博雄	中四国ブロック血液センター
39	2015 (H.27). 10	大阪府(大阪市)	所長 河 敬世	近畿ブロック血液センター
40	2016 (H.28). 10	愛知県(名古屋市)	所長 高松 純樹	東海北陸ブロック血液センター
41	2017 (H.29). 10	福岡県(福岡市)	所長 入田 和男	九州ブロック血液センター
42	2018 (H.30). 10	千葉県(千葉市)	所長 中島 一格	関東甲信越ブロック血液センター
43	2019 (R. 1). 10	宮城県(仙台市)	名誉所長 清水 博	東北ブロック血液センター
44	2020 (R. 2). 10	広島県(広島市)	相談役 椿 和央	中四国ブロック血液センター
45	2021 (R. 3). 11	北海道(札幌市)	所長 紀野 修一	北海道ブロック血液センター

日本血液事業学会名誉会員

池 田 久 實	高 松 純 樹
伊 藤 孝 孝	高 本 滋
稻 葉 頌 一	田 中 明
大 川 力	土 岐 博 信
大 竹 一 生	土 肥 博 雄
小 澤 和 郎	西 本 至
河 敬 世	船 本 剛 朗
清 川 博 之	前 田 義 章
草 刈 隆	南 陸 彦
敷 島 宏 和	宗 像 寿 子
十 字 猛 夫	湯 浅 晋 治
白 戸 恒 勝	浅 井 隆 善

(順不同)

日本血液事業学会役員

会 長	瀧 原 義 宏	(日本赤十字社近畿ブロック血液センター所長)
常任幹事	村 井 利 文	〔日本赤十字社血液事業本部副本部長(兼) 経営企画部長〕
幹 事	宮 田 茂 樹	〔日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所副所長(兼) 研究開発部長〕
	紀 野 修 一	(日本赤十字社北海道ブロック血液センター所長)
	山 本 哲	(北海道赤十字血液センター所長)
	中 川 國 利	(日本赤十字社東北ブロック血液センター所長)
	柴 崎 至	(青森県赤十字血液センター所長)
	室 井 一 男	(日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター所長)
	加 藤 恒 生	(東京都赤十字血液センター所長)
	竹 尾 高 明	(日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター所長)
	木 下 朝 博	(愛知県赤十字血液センター所長)
	瀧 原 義 宏	(日本赤十字社近畿ブロック血液センター所長)
	平 井 みどり	(兵庫県赤十字血液センター所長)
	小 林 正 夫	(日本赤十字社中四国ブロック血液センター所長)
	池 田 和 真	(岡山県赤十字血液センター所長)
	入 田 和 男	(日本赤十字社九州ブロック血液センター所長)
	松 崎 浩 史	(福岡県赤十字血液センター所長)
会計監事	藤 崎 清 道	(神奈川県赤十字血液センター所長)
	峯 岸 正 好	(宮城県赤十字血液センター所長)

日本血液事業学会評議員

佐竹 正博 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所所長)
紀野 修一 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター所長)
山本 哲 (北海道赤十字血液センター所長)
中川 國利 (日本赤十字社東北ブロック血液センター所長)
柴崎 至 (青森県赤十字血液センター所長)
増田 友之 (岩手県赤十字血液センター所長)
峯岸 正好 (宮城県赤十字血液センター所長)
面川 進 (秋田県赤十字血液センター所長)
渡辺 眞史 (山形県赤十字血液センター所長)
氏家 二郎 (福島県赤十字血液センター所長)
室井 一男 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター所長)
佐藤 純一 (茨城県赤十字血液センター所長)
永井 正 (栃木県赤十字血液センター所長)
丸山 健一 (群馬県赤十字血液センター所長)
芝池 伸彰 (埼玉県赤十字血液センター所長)
脇田 久 (千葉県赤十字血液センター所長)
石丸 文彦 (東京都赤十字血液センター副所長)
藤崎 清道 (神奈川県赤十字血液センター所長)
布施 一郎 (新潟県赤十字血液センター所長)
杉田 完爾 (山梨県赤十字血液センター所長)
村上 純子 (長野県赤十字血液センター所長)
竹尾 高明 (日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター所長)
横川 博 (富山県赤十字血液センター所長)
金井 雅利 (石川県赤十字血液センター所長)
武藤 真 (福井県赤十字血液センター所長)
高橋 健 (岐阜県赤十字血液センター所長)
鶴田 憲一 (静岡県赤十字血液センター所長)
木下 朝博 (愛知県赤十字血液センター所長)
岡田 昌彦 (三重県赤十字血液センター所長)
瀧原 義宏 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター所長)
大野 辰治 (滋賀県赤十字血液センター所長)
辻 肇 (京都府赤十字血液センター所長)
谷 慶彦 (大阪府赤十字血液センター所長)
平井 みどり (兵庫県赤十字血液センター所長)
高橋 幸博 (奈良県赤十字血液センター所長)
住友 伸一 (和歌山県赤十字血液センター所長)
小林 正夫 (日本赤十字社中四国ブロック血液センター所長)
繩田 隆浩 (鳥取県赤十字血液センター所長)
松岡 均 (島根県赤十字血液センター所長)
池田 和真 (岡山県赤十字血液センター所長)

山 本 昌 弘 (広島県赤十字血液センター所長)
横 畑 和 紀 (山口県赤十字血液センター所長)
浦 野 芳 夫 (徳島県赤十字血液センター所長)
本 田 豊 彦 (香川県赤十字血液センター所長)
羽 藤 高 明 (愛媛県赤十字血液センター所長)
河 野 威 (高知県赤十字血液センター所長)
入 田 和 男 (日本赤十字社九州ブロック血液センター所長)
松 崎 浩 史 (福岡県赤十字血液センター所長)
松 山 博 之 (佐賀県赤十字血液センター所長)
木 下 郁 夫 (長崎県赤十字血液センター所長)
井 清 司 (熊本県赤十字血液センター所長)
山 田 健 治 (大分県赤十字血液センター所長)
北 折 健次郎 (宮崎県赤十字血液センター所長)
竹 原 哲 彦 (鹿児島県赤十字血液センター所長)
久 田 友 治 (沖縄県赤十字血液センター所長)

日本血液事業学会編集委員会委員

委員長 佐竹正博（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所所長）
委員 紀野修一（日本赤十字社北海道ブロック血液センター所長）
中川國利（日本赤十字社東北ブロック血液センター所長）
面川進（秋田県赤十字血液センター所長）
室井一男（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター所長）
竹尾高明（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター所長）
瀧原義宏（日本赤十字社近畿ブロック血液センター所長）
小林正夫（日本赤十字社中四国ブロック血液センター所長）
池田和眞（岡山県赤十字血液センター所長）
羽藤高明（愛媛県赤十字血液センター所長）
入田和男（日本赤十字社九州ブロック血液センター所長）